

**令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和4年12月  
海老名市立柏ヶ谷中学校**

令和4年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

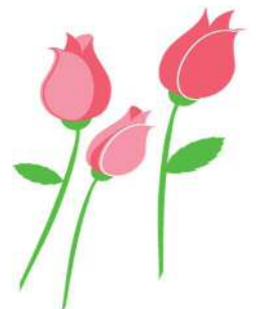
- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)  
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
  - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



# 中学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫できるかどうかをみる。
- ・論理の展開などに注意して聞くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。
- ・助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことができるかどうかをみる。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。
- ・表現の技法について理解できているかどうかをみる。
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解できているかどうかをみる。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができるかどうかをみる。
- ・行書の特徴を理解することができるかどうかをみる。
- ・漢字の行書の読みやすい書き方について理解できているかどうかをみる。
- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

- スピーチにおいて、自分の考えが分かりやすく伝わるよう、表現の工夫を凝らすことができます。
- 文章をより豊かで味わい深いものにするため、さまざまな表現技法を正しく理解して適切に使うことができます。
- 意見文を推敲するうえで、助動詞の働きを正しく理解し、目的に応じて使うことができます。
- 物語の流れを、場面と場面のつながりや場面と描写の結び付きを基に的確に読み取り、その内容を理解することができます。

### ◆課題のある点

- 場面の展開や登場人物の心情変化などを、背景的な描写や表現を基にした的確に捉えることに課題がみられます。
- 文脈に即した漢字を、その漢字の意味を正しく理解して書くことに課題がみられます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 背景的な描写の読解力向上にとどまることなく、主体的な思考に基づいた読解力の向上を図るため、「ICTを活用した調べ学習」「グループワーク」「個別の振り返り学習」を生かした自己発信型（表現型）の学習に取り組めます。
- 文章の種類や文章内容に応じて、適切な漢字を取捨選択して正しく使えるように、作文課題としての漢字の学習を推し進めます。

# 中学校 数学

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・自然数を素数の積で表すことができるかどうかをみる。
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。
- ・反例の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・一次関数の変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
- ・式を変形したり、意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。
- ・データの傾向を的確に捉え、理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができています。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができています。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。

### ◆課題のある点

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。
- 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることに関し課題がみられます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられたため、グループワークやペアワークを通じてお互いの考えを深め合う活動を授業に取り入れます。
- 事象を数学的に捉え、説明をすることについてはよい結果がみられたため、生徒間での教え合いや説明し合う活動を取り入れた授業を継続していきます。

# 中学校 理科

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。
- ・静電気や気圧、岩石、状態変化に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる。
- ・天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。
- ・化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素を燃料として使うしくみとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・複数の脊椎動物のあしの骨格について比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。
- ・課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。
- ・大地の変動について他者の考察を、検討して改善できるかどうかをみる。
- ・時間的・空間的な見方を働かせながら、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる。
- ・未知の節足動物とアリを比較して、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 全国平均と比べて、「粒子」を柱とする領域について正答率が高かったです。特に、液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する問いにおいて、状態変化に関する知識及び技能を活用できており、よく理解していることがうかがえました。

### ◆課題のある点

- 全国平均と比べて、「エネルギー」を柱とする領域について正答数が少なく、力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明すること、考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかについては理解不足が目立ちました。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- ICTを活用して主体的・対話的に取り組める活動を増やします。実験の様子や結果を動画や写真に収めたり、データ化することで多くの生徒と迅速に意見を共有し、様々な視点からの振り返りに取り組みます。
- 授業や実験を通して得た知識・技能を活用する場面を増やします。問題演習や実験考察を書く機会を増やすことだけでなく、自分の考えを他人に説明し、議論する場面を多く設定していきます。

# 生徒質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

○「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」に「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」と回答した生徒の割合が全国平均より10%以上も上回っています。各教科や総合的な学習の時間などで「主体的、対話的な学習活動」に取り組んでいる成果だと考えます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が全国平均より約10%下回っています。日頃、学習した内容を定着させるために授業のみで終わらず、家庭学習での見直し等が必要だと考えます。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が全国や県の平均より高く、本校での回答者の割合が90%を超えています。日頃の学校生活全般にわたる教育活動や道徳の授業などの成果により豊かな人間性が育てられていると考えます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間を除く)」という質問に対し、「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」と答えた生徒の割合が全国平均より15%以上も上回り、約45%となっています。多くの生徒が日頃からSNSの利用や動画視聴をしていることがうかがえます。便利な道具として利用しつつも、使い方や使用する頻度については一人ひとりが考えていく必要があります。

## 今後の具体的な取組について

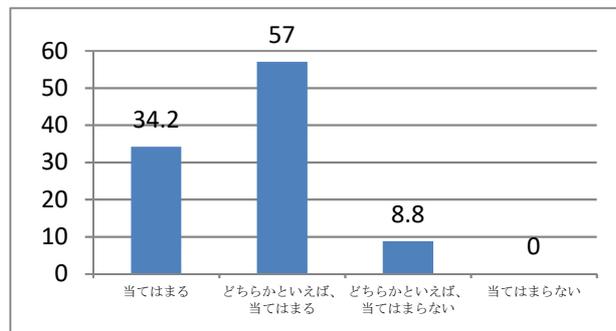
- 継続的に、各教科や各領域での「主体的、対話的な学習」を実践し、思考力、判断力、表現力のさらなる育成と積極的に学習に取り組む姿勢の伸長を目指します。
- 日々の学習から、計画的に学習する習慣が身につくための課題設定(宿題や授業の振り返り等の家庭学習を含む)や取組を充実させるよう努めます。
- 学校からスマートフォンの使用やSNSの危険性について情報発信を行い、家庭でのルールづくり等につながるよう働きかけていきます。
- 「自立」「共生」「豊かな心」の三本柱を具現化するため、生徒が充実感や満足感が得られるような、自治活動(行事、生徒会活動、部活動等)の取組を充実させていきます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

## 1 友人や仲間のよさを認め合いましょう。

人の個性や価値観はさまざまです。他者のよさをお互いに認め合って、思いやりをもって、接するようにならしましょう。

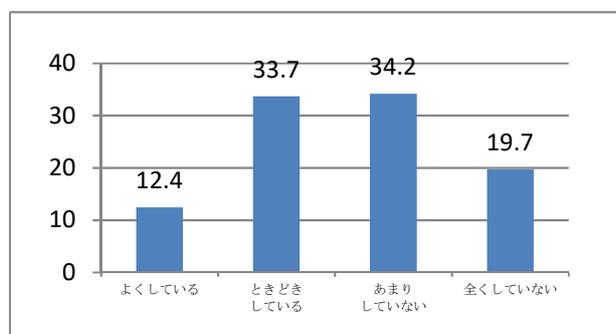


人が困っているときは、進んで助けていますか

## 2 計画的に学習する習慣を身につけましょう。

将来の夢の実現に向けて、努力を重ねていくことは大切です。

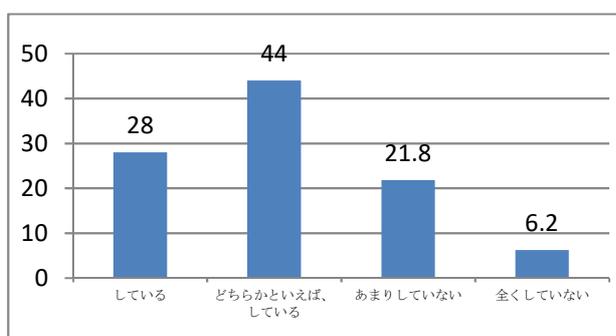
人生設計を考える上でも、常日頃から、計画的に学習する習慣を身に付けましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

## 3 健康的で規則正しい生活を送りましょう。

活力あふれる一日を過ごすためには、健康的で規則正しい生活が不可欠です。SNS等に夢中になりすぎないように、十分な睡眠時間をとりましょう。

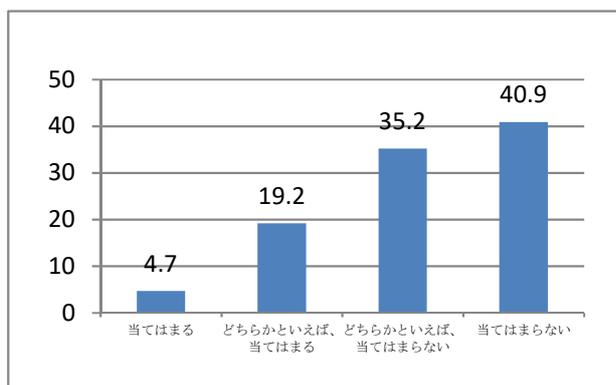


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

## 4 地域や社会に貢献できるように心がけましょう。

お互いに支え合い、助け合うことで社会は成り立っています。

まずは、スモールコミュニティである「地域」のボランティア活動などに積極的に参加しましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

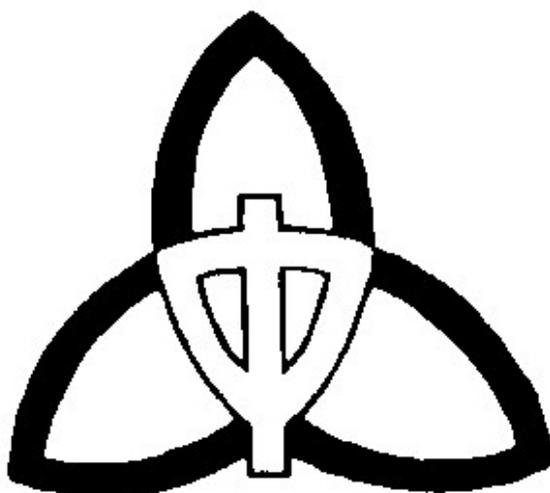
## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係